

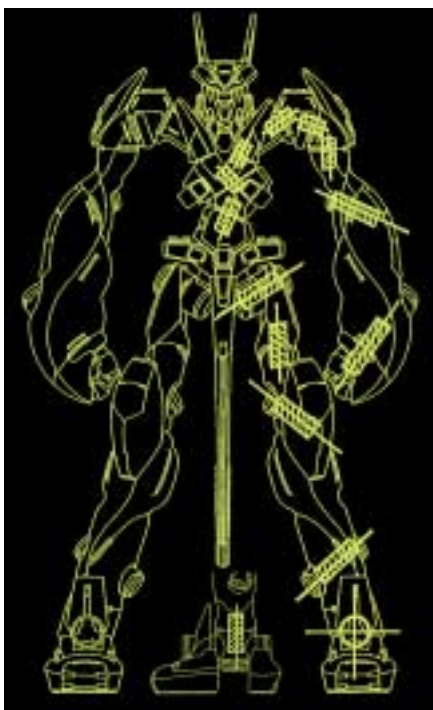
蒼穹のファフナー

メカ・プロップデザイン： 鷲尾直広

構成・文：(株)ブレインナビ 杉原 克由



空想世界の リアリティ



瑞々しい青春群像と、壮大なSF設定の融合で話題を呼んだアニメーション作品「蒼穹のファフナー」。エモーショナルな物語を支えた巨人・ファフナーのデザインは新進気鋭の鷲尾直広氏である。単なるアイキャッチにとどまらない作品世界におけるリアリティとは何なのか？メカデザイン方法論の新たな切り口を探る!!

マークエルフ (同型機にマークドライ)

ファフナー・ノートゥング・モデル11番機 (及び3番機)
重火器を使用する長距離戦闘から近接戦闘までに対応できる万能型のファフナー



各国が開発したなかでもノートゥング・モデルは搭乗者の適正率が十万人に一人と大変低く、竜宮島では人工的に搭乗者を誕生させ育成した



ファフナー・ノートゥング・モデル

物語の舞台となる竜宮島に配備された全高約35mの大型兵器。ネーミングモチーフとなった「ニーベルングの指環」では、ファフナー (ファフニール) とは「眠りながら戦う巨人」及び「洞窟の宝物を守るために巨大な爬虫類 (竜) に身を変えた巨人」の名である。搭乗者は半催眠状態になることで脳の深奥部で攻撃本能を司る「太古の爬虫類の脳」を覚醒させ潜在的な攻撃本能を100%引き出すことで「最強の攻撃者」となる。